

神奈川大会開催にあたって

神奈川大会実行委員長 松本 祥勝

(神奈川県小学校教育研究会特別活動部会長、相模原市立田名小学校長)

第18回関東地区特別活動研究協議大会が神奈川県相模原市を会場として開催されますことを大変喜ばしく思っております。神奈川県小学校教育研究会特別活動部会では、横浜、川崎、相模原、横須賀、川東、川西の5つの地区でそれぞれ研究活動を進めておりますが、この度、本大会を開催するにあたり、「持続可能な社会の創り手として、未来を切り拓く力を育む特別活動」を大会主題として、オール神奈川で一丸となり大会準備を進めてきました。

特別活動における「なすことによって学ぶ」対話的で体験的な実践は、児童一人一人が自分や他者を尊重しながらよりよい関係を築いたり、協働して課題を解決したり、時に自己をみつめ成長につながる気づきを得たりするなど、児童が自立に必要な「生きる力」や将来社会で活躍する上で大事な非認知能力を身に付ける重要な機会となります。

また、こうした特別活動での取組は、児童が主体的に学びに向かう土台を作る上で極めて重要とも考えます。現行の学習指導要領では、特別活動を要としたキャリア教育の推進や、「学級活動における自発的、自治的な活動が学級経営の充実に資する」ことが示されていますが、教員一人一人が特別活動を理解し、学校全体で推進していくことが肝要と考えます。そして、このような特別活動を適切に指導し、マネジメントすることのできる人材を育てていくことが、持続可能な社会の創り手を育てる我々教員の使命であると感じております。

本大会での研究協議を通じて、関東地区の会員の皆様が広く意見交換を行い、視野を広げることで、今後の授業実践の質的向上につながることを大いに期待いたします。

結びに、本大会の開催にあたり、神奈川県教育委員会、相模原市教育委員会をはじめとした各教育機関及び各教育団体の皆様方には、多大なご支援・ご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官和久井伸彦様におかれましては、本大会での講演を快くお引き受けくださり誠にありがとうございます。本大会が皆様にとって実り多きものとなるよう祈念いたします。